

特徴

利点

ハードウェアの特長

第三世代ハードウェアアーキテクチャ

業界最高峰の KVM-over-IP パフォーマンスを持つ Dominion KX III は、高性能な Java 不要のリモートアクセスと制御で IT やラボの管理はもちろん、もっとも厳しいビデオパフォーマンスを求める放送業界での導入にも適しています。KX III の第三世代のアーキテクチャは優れた性能、信頼性、セキュリティ、快適な使用感と互換性の新基準を築きます。新しい Dominion Serial Access Module (DSAM) を使用することで、KX III は最大 8 台のシリアルデバイスを管理できるようになりました。

「プラグアンドプレイ」のアプリアンスで、素早く簡単にセットアップ

Dominion KX III は、セキュアな Linux[®] ベースのハードウェアアプリアンスです。全ての KX III の機能は認証や Java 不要のブラウザ経由のアクセスを含めて、このアプリアンスに内蔵されているため、追加のサーバーを必要としません。

ストリーミング HD ビデオとオーディオ転送を可能にする第三世代のビデオ処理能力

KX III の第三世代のビデオ処理エンジンは、従来の IT 管理はもちろん、もっともダイナミックな放送業界での一秒 30 フレームでの 1920x1200 のリモートビデオ解像度、24 ビットカラー、デジタルオーディオ、DVI、HDMI、DisplayPort と VGA ビデオの使用にも適しています。

新しい Dominion KX III ユーザーステーションアプリアンス

KX III ユーザーステーションは必要な機能をすべて装備したユーザーアプリアンスで、リモートサーバーへの高パフォーマンス IP アクセスを可能にします。TCP/IP で Dominion KX III スイッチに接続するユーザーステーションは、超高速のビデオ性能を備え、1080p (1920x1080) の映像データを 2 つ同時に 30 フレーム/秒で伝送する高速ストリーミングをサポートしています。レイテンシーもわずか 50 ミリ秒という低さです。

KX III ユーザーステーションのコンセプトは、Paragon ユーザーステーションと同様ですが、8 台以上のサーバーの同時アクセス/制御、デュアルモニタ、音声、仮想メディアなどの機能が拡張されています。このユーザーステーションは、スマートカード (CAC) 認証や FIPS 140-2 暗号化モジュールにより、政府や軍の要件にも対応しています。

フェイルオーバー機能付きの二重化電源

信頼性と冗長性を向上させるために、Dominion KX III の全てのモデルは二重化 AC 入力、二重化電源、自動フェイルオーバー機能を持ち、電源供給の冗長構成をサポートします。電源の障害は、正面パネルの LED、SNMP トラップ、ログメッセージ、管理マネージャを通じて通知されます。

キーボード、マウス、USB メディア用の 4 つの USB ポート

Dominion KX III には 4 つの USB 2.0 ポートが搭載されています。3 つは背面パネルに、1 つは正面パネルに、キーボード、マウス、スマートカード、携帯モデム、およびラリタンの新しい DSAM モジュール経由の serial-over-IP アクセス用に用意されています。

フェイルオーバー機能付きの二重化ギガビット Ethernet ポートまたは二重化ネットワーク接続

冗長性を確保するために、Dominion KX III は二重化ギガビット Ethernet LAN ポートによる高可用性を提供します。一方の Ethernet スイッチまたはインタフェースカードで障害が発生しても、自動的にもう一方のポートにフェイルオーバーし、動作を継続します。設定により、2 つの異なるネットワークに同時接続することもできます。

複数のハードウェアモデル

複数のハードウェアモデルにより、1、2、4、8 人のリモートユーザーが 8、16、32、64 台のサーバーに同時にアクセスできます。ラリタンは、4 および 8 人のユーザー用に 64 ポートのデジタル KVM スイッチを提供する業界屈指かつ唯一のベンダーです。

デジタルローカルポート	Dominion KX III のデジタルローカルポートは、DVI および USB インタフェースで迅速なローカルアクセス管理を提供します。
1U または 2U に収納できるフォームファクタ	Dominion KX3-464、KX3-864 は 2U サイズ、それ以外のモデルは 1U サイズです。Dominion KX III は効率よくラックに収めることが可能です。
Cat5 ケーブリング	Dominion KX III と各サーバーとの接続には標準規格の Cat5 (UTP) ケーブルが使用できます。サーバーは、Dominion KX III ユニットから最大で 45 メートル離れた場所に設置できます。
マルチプラットフォーム CIM (コンピュータインタフェースモジュール)	Dominion KX III は、PS/2、USB、Sun [®] 、およびシリアルサーバーに接続するマルチプラットフォーム CIM をサポートしています。アナログの VGA ビデオと、新しい DVI、HDMI、DisplayPort といったデジタルビデオ標準をサポートしています。 Dominion CIM は Dominion KX III 本体から、解像度によっては 45 メートル離して使うことができます。
ティアリングポート	複数の Dominion KX III をティアリング (カスケード) できるように、ティアリングポートを用意しました。
緊急アクセス用携帯・電話モデムオプション	Dominion KX III の全てのモデルは、USB 経由で外部 Sierra Wireless 携帯モデムに接続、またはモデムポート経由で電話モデムに接続できるため、データ通信を使用できないときも、緊急リモートアクセスが可能です。セキュリティオプションでは、LAN アクセスが作動していないときも携帯モデムを使用することができます。

KVM-over-IP・Serial-over-IP 接続性の特長

1、2、4、8 人の同時リモート IP ユーザー	Dominion KX III は、購入モデルに応じて 1、2、4、8 人のリモートユーザーへの同時 KVM-over-IP アクセスを提供します。ラリタンは、ほとんどのお客様のニーズと予算にお応えできるように、豊富なモデルを取り揃えています。ノンブロックのローカルポートアクセスは、全てのモデルで提供されます。新しい DSAM モジュールを使用すれば、最大 8 台まで serial-over-IP アクセスすることが可能です。
8、16、32、または 64 のサーバーポート	Dominion KX III には、Cat5 ケーブルを使用して最大で 8、16、32、64 台のサーバーを接続できます。ラリタンは、1、2、4 および 8 チャンネルの 32 ポートモデルを開発した最初の KVM over IP ベンダーであり、4 および 8 チャンネルの 64 ポートデジタル KVM スイッチを世界に先駆けて発売しました。4 および 8 チャンネルの 64 ポートデジタル KVM スイッチは業界最高密度を誇り、最大 4 台の標準 KVM スイッチを統合してコストや管理の負担を低減することができます。
ノンブロッキングの 8x8 モデルに超高速スイッチング	8 ポート 8 チャンネルに対応する DKX3-808 モデルで、接続先サーバーへの常時アクセスが可能。ブロッキングはありません。このモデルは常時稼働を求められる重要インフラに最適です。 このモデルはミリ秒単位の切替えや超高速アクセスもサポートしており、放送関連をはじめとするリアルタイムアプリケーションに最適です。
Java 不要の KVM-over-IP アクセス	Dominion KX III は、業界屈指の性能と柔軟性を誇り、KVM-over-IP テクノロジーで設計されています。ネットワーク (LAN、WAN、インターネット、モバイル端末、ダイヤルアップ) のどこからでもアクセスでき、管理者は、トラブルシューティング、再設定、リブート、そしてサーバー電源のオン/オフまでリモートで実行できます。 KX III には、2 つの Java 不要の KVM クライアントが装備されています。(1)

最大 8 台のシリアルデバイスに真の Serial-over-IP アクセス

Windows 用の Windows ベースの Active KVM Client (AKC) および (2) Linux と Mac での基本的な Java 不要の KVM-over-IP アクセスを可能にする HTML KVM Client (HKC) です。

新しい Dominion Serial Access Module (DSAM) を使用することで、Java 不要のシリアルアクセスにより最大 8 台のシリアルデバイスに接続できるようになりました。2 および 4 ポート DSAM は、KX III スイッチの USB ポートに接続します。DSAM により、コピー&ペースト機能を持つ「真のシリアルアクセス」が可能になり、LAN スイッチ、ルーター、Linux/Unix サーバーなど最大 8 台のシリアルデバイスへの同時接続ができます。

Apple[®] iPhone[®] や iPad[®] によるモバイルアクセス

DSAM の設置はシンプルかつ簡単です。デバイスからの電源供給を必要とせず、KVM ポートやセッションを使用しません。また、ロールオーバーケーブルや電源アダプター、ラックスペースも不要です。KX III スイッチ周辺に Serial-over-IP アクセスが必要なネットワークスイッチや Unix/Linux サーバー (最大 8 台) を接続する場合、DSAM は最適なソリューションです。

PC 端末からのアクセスと同様の高いセキュリティで iPhone や iPad 経由でサーバーにリモートからアクセスと制御が可能です。(CommandCenter[®] Secure Gateway が必要になります)。

柔軟性に富んだカスケードにより 1024 台までのサーバーにアクセス

複数の Dominion KX III をカスケード接続することで、それぞれに接続されたサーバーヘッダーセンター内またはリモート PC からのアクセスが可能です。統合ポートリストまたはワイルドカード検索により 1024 台までのサーバーにアクセスできます。

業界初の DVI ベースのデジタルローカルポート

Dominion KX III は、業界初のブラウザベースのローカルアクセスの新基準を築きました。リモート/ローカルとも同じ GUI を使用することにより、操作性と管理性が大幅に向上します。Dominion KX III は、新しい DVI ベースのローカルポートによりハイレベルの生産性とパフォーマンスを実現しています。ラリタンの T1700-LED および T1900-LED キーボードトレイは、便利なラック前アクセスに対応しています。

日本語、中国語といったアジア言語に対応

Dominion KX III のリモート HTML ユーザーインターフェースと KVM クライアントは日本語、簡体字中国語、繁体字中国語をサポートするようになりました。KVM スイッチ単体でも、CC-SG 経由でもこれらの言語をサポートします。

ブレードサーバーのアクセス制御

Dominion KX III は、HP[®]、IBM[®]、Dell[®]、Cisco[®] などの主要なブレードサーバーに対応しています。そのアクセスは、(1) ラック前 (ローカル)、(2) IP ネットワーク、(3) CommandCenter[®] 経由、(4) モデムのいずれの方法においても、シンプルかつ自動化されたセキュアな KVM-over-IP アクセスです。ブレードサーバーはシャワーシ別に画面表示され、ワンクリックでアクセス可能です。ブレード毎のアクセス許可を経由した先進的なセキュリティとホットキーブロッキングにより認証していないアクセスを排除します。

他のベンダーと異なり、Dominion KX III のこの機能は、管理ツールを入れることなく利用できるため、中小規模システムのお客様に最適です。エンタープライズのお客様には、多種多様なデータセンター環境に必要な集中認証やセキュリティ管理を提供する CommandCenter Secure Gateway との併用により、シームレスなブレードサーバー統合を実現します。

統合型リモート電源制御 - KX III が 1 台あたり最大で 8 つの電源ストリップに対応

ユーザーは、オプションのラリタンリモート電源制御ユニットに接続されているサーバーの電源オン/オフ切り替えを実行できます。システム管理者はサーバーをリモート環境からトラブルシューティングできるだけでなく、マウスのクリック操作のみでサーバーの

電源オン/オフを切り替えることもできます。1つのKX IIIユニットで最大で8つの電源ストリップに対応し、ユーザーフレンドリなリモート電源制御を利用できます。ストリップレベルでの電力統計もユーザー用に表示されるようになりました。またサーバー以外の機器のアウトレットのオン/オフも可能です。

二重化スタック IP ネットワーキング – IPv4 と IPv6 対応

Dominion KX III は二重化スタック IP ネットワーキングを提供し、IPv4 と IPv6 を同時にサポートします。

ユニバーサル仮想メディア[™]の特徴

KX III の全てのモデルで利用できる仮想メディア

Dominion KX III の全モデルに仮想メディア機能が搭載され、ターゲットサーバーへのリモートドライブ/メディアのマウントにより、ソフトウェアのインストール、リモート環境からの起動と診断を実行できるようになりました。

幅広くサポートされる仮想メディアドライブおよびデバイス

Dominion KX III には仮想メディアが搭載されており、CD/DVD/USB/内蔵/リモートのドライブやイメージなど、様々なメディアを使ってリモート操作が可能です。他のソリューションと異なり、Dominion KX III は、PC のハードドライブやリモートでマウントされたディスクの仮想メディアアクセスもサポートし、より柔軟性と生産性を高めます。

仮想メディアでデジタル音声転送

デジタル USB オーディオに IP 経由で仮想メディア接続中にサーバーにある音声アプリケーションにリモートアクセスできます。再生、録音いずれも対応。IT 管理者、ソフトウェア開発者、放送業界やエンタテインメント業界のユーザー、音声コンテンツ制作やリモート監視に最適です。USB デジタルオーディオ、CD 品質のオーディオ、再生・録音のバッファ設定、アナログ・USB スピーカーやマイクにも対応します。

128/256 ビット暗号化による安全な仮想メディア

仮想メディアセッションは、128、256 ビット AES または 128 ビット RC4 暗号化を使用してセキュリティ保護されます。

デュアル USB 仮想メディア CIM と USB プロファイル

デュアル USB 仮想メディア用 CIM (D2CIM-DVUSB-xxx) と USB プロファイル機能により、仮想メディアドライブの BIOS レベルからの利用を拡張し、様々なサーバーと BIOS のバージョンをサポートできます。

デュアル USB 仮想メディア用 CIM は、DVI、HDMI、DisplayPort、VGA ビデオをサポートし、デジタル音声、スマートカード/CAC 認証、ティアリングも同時に利用できます。

仮想メディア、「ずれないマウス」機能、ファームウェアの更新に対応した新しい USB CIM

D2CIM-VUSB は、USB 2.0 インタフェース対応のターゲットサーバーとの仮想メディアセッションをサポート。経済的な 32 および 64 の CIM パッケージで使用可能なこの CIM は「ずれないマウス」機能とリモートファームウェアの更新にも対応しています。

Java 不要の KVM (およびシリアル) クライアントアクセスと制御

Java 不要の KVM (およびシリアル) クライアントアクセス - いつ、どこから、どのような環境にも対応

Dominion KX III は、業界標準の OS、プラットフォーム、および Web ブラウザに柔軟に対応し、KVM アクセスを可能にします。KVM とシリアルデバイスの両方で、Windows、Linux、Mac の PC から Java 不要のアクセスが可能です。

次世代の共通ユーザーインターフェース

ブラウザベースのインターフェースにより、ユーザビリティと生産性を強化しました。リモート/ローカル、管理ソフトウェア、他の Dominion 製品と共通のインターフェースでトレーニングに時間を割くことなく、生産性が向上します。

Web アクセス対応 KVM クライアント

ユーザーは、いつでもどこからでも Web ブラウザ経由で Dominion KX III にアクセスできます。ラリタンの KVM クライアントソフトウェアは自動的にダウンロードされるため、各ユーザーのデスクトップに「クライアント」ソフトウェアをインストールする必要はありません。

Linux および Mac プラットフォーム対応 Java 不要 HTML KVM Client

Linux および Mac プラットフォーム対応の新しい Java 不要 HTML KVM Client (HKC) が利用可能になりました。ブラウザで稼働し、Java や .NET を必要としないこの HTML ベースの KVM クライアントは、Java の使用を最小限に抑えたいユーザーに最適です。

この HTML クライアントソフトウェアは最初のリリースであるため、音声、仮想メディア、スマートカードなどの KX III の先進的機能の全てには対応していません。これらの機能が必要な場合は、Java ベースの Virtual KVM Client または Windows で Active KVM Client をご使用ください。詳細については、リリースノートおよび文書を参照してください。

Windows プラットフォーム向け Java 不要 KVM クライアント

ラリタンの Active KVM Client (AKC) は、Java の使用を極力避けたいユーザー向けに Microsoft .NET フレームワークに基づき開発した製品で、Java は不要です。AKC は現在、Windows プラットフォームの KVM クライアントに標準装備されています。

Linux および Mac ユーザー向け Java 不要 HTML シリアルクライアント

ラリタンの新しい DSAM モジュールにより、KX III ユーザーは Serial-over-IP アクセスが可能になりました。新しい HTML Serial Client (HSC) では Java を使用しなくてもシリアルアクセスをすることができます。

iPhone や iPad からのモバイル KVM アクセス

Dominion KX III に接続されたサーバーのアクセス制御が、Apple の iPhone や iPad から可能に。iPad の常時使用に便利なだけでなく、24 時間 365 日の緊急アクセスもできます。(CC-SG が必要になります。)

PC シェアモード

PC シェアモードを使用することにより、同じサーバーに対して最大 8 人のユーザーが同時に接続およびリモートアクセス可能。この機能は管理者が共同でサーバーのトラブルシューティングを行う場合に便利です。

リモートビデオ機能

高画質 (HD) リモートビデオ解像度 1920 x 1200

Dominion KX III は、KVM-over-IP で初のフル高画質 (HD) 1080p リモートビデオ解像度サポート製品です。さらに 1920x1200、1600x1200、1680x1050、1440x900 といった一般的なワイドスクリーンフォーマットに対応するため、リモートユーザーも最新の解像度モニターを利用できます。

超高速接続、ミリ秒単位の高速切替え

8 ポート 8 チャンネルに対応する DKX3-808 モデルで、接続先サーバーへの常時アクセスが可能。このモデルはミリ秒単位の高速切替えや超高速接続もサポートしており、放送関連をはじめとする厳しい時間管理が求められるリアルタイムアプリケーションに最適です。

KX III ユーザーステーションで 50 ミリ秒の低レイテンシーを実現

Dominion KX III ユーザーステーションと一緒に使用することで、KVM-over-IP 接続では 50 ミリ秒の低レイテンシーが可能です。放送業界やその他のダイナミックなビデオアプリケーションにも対応しています。

全画面ビデオ表示

Dominion KX III の全画面ビデオ表示ならではの、対象サーバーに直接接続しているかのような操作性。ウィンドウ枠やツールバーのない対象サーバーの全画面表示が可能です。新しいポップアップメニューバーで、KVM クライアント機能をフルスクリーンモードでも KVM クライアントを使えます。

ポートスキャンニングとサムネイル表示

選択したサーバーをスライドショーやリアルタイムのサムネイル表示ができます。サーバーのリストを選択して、スキャンのインターバルを設定すれば、サーバーにすばやくアクセスできます。リモートでもローカルでも可能。

デュアルモニタ KVM クライアントサポート

生産性を高めるために複数の LCD モニターを利用するユーザーのために、Dominion KX III は KVM セッションを複数のモニターで開始できます。フルスクリーン、スタンダードモードともに対応。

このモードでは、サーバーのリストが片方のスクリーンに表示され、もう片方でフルスクリーン KVM セッションを開始できます。またはセカンダリとしてデスクトップモニターを KVM 専用にもできます。

デュアルビデオカード

デュアルビデオカードのあるサーバーには、リモートユーザーの拡張デスクトップ構成によりリモートからアクセスが可能です。

柔軟に行える画面の拡大/縮小

対象サーバーの画面表示をクライアントのディスプレイウィンドウに合わせた拡大/縮小が可能。Dominion KX III の柔軟な拡大/縮小機能により、ユーザーは固定サイズのウィンドウに制限されず、ウィンドウ枠を必要なサイズに広げたり、小さなサムネイル表示にしたりすることができます。

自動カラー補正機能

Dominion KX III は自動および手動の色補正機能を提供。画面表示を最適化して、ほぼ実物通りの色を実現し、生産性の向上と作業量の低減を可能にします。

24 ビットカラーのサポート

Dominion KX III の 24 ビットカラーサポートにより、ネットワーク経由でも優れたビデオ品質が提供されます。モデムや、低帯域幅リンクによる接続にも対応できるように、複数のカラーモードとグレースケールが用意されています。

帯域幅とパフォーマンスの柔軟な設定により様々な環境に対応

使用可能な帯域幅と使用用途に合わせてビデオを帯域幅とビデオパフォーマンスを設定可能。高速 LAN アクセスの場合、1920x1200 ストリーミングビデオを一秒 30 フレームでサポートします。インターネットなど使用可能な帯域が少ない環境の場合、利用帯域を最低限に設定できます。

高速なビデオ切替

Dominion KX III の高度なビデオ解像度検出機能がターゲットサーバーの画面特性を計算し、サーバーへの接続がほぼ瞬時に行われます。これにより、接続されているすべてのサーバーに迅速にアクセスできます。

マウス・キーボード機能

「ずれないマウス」機能 (Absolute Mouse Synchronization™)

究極のマウス同期機能により、リモートおよび対象となる Windows や MAC[®] サーバーのマウスポインタの同期が外れることはありません。また、互換 USB マウスポートを持つサーバーの場合、ターゲットサーバー上でマウス設定を調整する必要がありません。これにより、インストール時間が短縮し、Dominion KX III のプラグアンドプレイ

性能を拡張します。この機能は D2CIM-VUSB および D2CIM-DVUSB の仮想メディア CIM で有効になります。*対応 OS が必要

インテリジェントマウス同期機能 (Intelligent Mouse Synchronization™)

ほとんどの KVM スイッチでは、ターゲットサーバーのマウスの動きと加速度を KVM ユーザーごとに手動で設定する必要がありますが、Dominion KX III のインテリジェントマウスオプションを使用することにより、マウス設定は自動的に調整され、このような手間が省けます。この機能がプラグアンドプレイ操作をより確かなものにします。

スピーディなシングルマウスモード

多くの Dominion KX III ユーザーは、マウスを 2 つ使用する構成を好みますが、KX III のシングルマウスモード機能はスピーディなパフォーマンスを提供し、サーバーや OS に何かの変更をする必要もありません。

透過的なキーボード処理

透過的なキーボード処理とは、ユーザーのキー操作が全て仮想的にターゲットサーバーに送信され、デスクトップクライアント側では処理されないことです。本機能を使用することにより、キーボードマクロ作成の必要性はほとんどなく、ユーザーはよりスムーズにターゲットサーバーを操作できます。

強固なセキュリティ

検証済みの FIPS 140-2 暗号化モジュール

政府、軍隊といった高度のセキュリティが要求されるアプリケーションに対応して、Dominion KX III は暗号化強化のために米国政府機関検証済みの FIPS140-2 暗号モジュールを採用しています。FIPS 140-2 対応としてテスト・確認されたモジュールは米国、カナダの連邦政府で機密情報の保護に利用できます。

AES 暗号化

次世代標準暗号化方式 Advanced Encryption Standard (AES) 暗号化を採用。AES は米国政府が承認した暗号化アルゴリズムで、米国標準技術局 (NIST) の FIPS 標準 197 で推奨しています。128 ビット、256 ビットが利用できます。

スマートカード/CAC 認証対応

ローカルでも、IP 経由のスタンドアロンでも、CC-SG 経由でもスマートカード認証 (CAC を含む) に対応しています。米国政府の HSPD-12、PIV、CAC 指令、ISO7816、PC/SC および CCID 標準に対応しています。ご使用に際しては D2CIM-DVUSB CIM が必要です。

ビデオと仮想メディア、スマートカードの暗号化

Dominion KX III では、キーボードおよびマウスのデータに加えビデオ信号も安全に暗号化します。仮想メディアとスマートカードのデータ転送も安全です。

RADIUS、LDAP、および Active Directory[®] 認証

LDAP または RADIUS のどちらかのプロトコルを使用して、Microsoft[®] の Active Directory などの業界標準ディレクトリサーバーと統合。これにより既存のユーザー名/パスワードを使用したセキュリティを実装できます。

「強力なパスワード」機能

管理者が設定できる「強力なパスワード」機能を装備しています。この機能により、ユーザーが作成したパスワードが会社や政府の基準に確実に合致し、強引なハッキングへのセキュリティも確保されます。

2 ファクタ認証

KX III ログイン時の 2 ファクタ認証セキュリティでは、RSA Secured が RADIUS を通じてサポートされます。

SSL & TLS セキュリティオプション

セキュリティ上の理由で、SSLv1、SSLv2、SSLv3 は無効です。よりセキュアな TLS プロトコルを使用しています。さらに、使用する TLS バージョンは KX III 管理者が制御します。StartTLS 暗号化も利用可能になり、LDAPS 認証のセキュリティもさらに向上しました。

設定可能なセキュリティバナー

政府や軍隊のようなセキュリティが厳しく、ユーザーログイン前にセキュリティメッセージを必要とするユーザーのために、KX III はユーザーが設定できるバナーメッセージを表示し、ログイン前に確認を求めることができます。

ユーザー提供の SSL 認証のアップロード

電子証明書 (自己署名証明書または証明機関提供の証明書) にアップロードして認証や安全性を強化できます。ラリタンでは、セキュリティ強化とブラウザの警告メッセージ出現の低減のために、認証のアップロードを推奨しています。

ユーザー、グループ、権限によるローカル認証

外部認証のほかローカル認証にも対応。管理者は、管理権限およびポートアクセス権限を持つユーザーやグループをカスタマイズし、定義できます。

管理機能

リモートとローカルでの運用と管理

管理者は、自身のデスクトップや、データセンター、ラボからシンプルな GUI を使って、運用、管理、設定操作を全て実行できます。

ラリタンの CommandCenter® Secure Gateway との統合

Dominion シリーズのその他の製品同様、CommandCenter Secure Gateway と統合可能です。CC-SG は全ての Dominion KX II/III デバイスを単一の論理システムに集約し、シングルサインオンでのリモートアクセス制御を提供します。

CC-SG を経由すれば、Dominion KX III に接続されたサーバーに iPhone や iPad からアクセスできます。

Dominion KX III ソフトウェア開発キットおよび API

内部システムとの統合、KVM-over-IP アクセスのカスタマイズ、自動 KVM クライアントセッションが必要な場合、Dominion KX III ソフトウェア開発キット (SDK) およびアプリケーションプログラミングインターフェース (API) をオプションでご利用いただけます。KX III SDK/API の購入には、別の契約とユーザー認証が必要です。

SNMP 管理、Syslog、E メールによるイベントログ

システムとユーザーのイベントをログ化し、各デバイスにログファイルとして残せます。永久ロギングには、Dominion KX III SNMP エージェントが、SNMP トラップを配布し、重要なシステムイベントを把握。SNMP トラップは管理者が設定できます。SNMP v2 と v3 をサポートします。Syslog ロギングや E メール通知も利用可能です。

Java 不要の管理

Java を使用せず KX III 管理を実行するには、<<IP Address>/admin> で KX III を立ち上げてください。

Dominion KX II との互換性

既存の第二世代 Dominion KX II スイッチは、Dominion KX III と併用して引き続き使用可能です。CC-SG およびラリタンの Virtual KVM Client (VKC)、Active KVM Client (AKC) は、KX II および KX III に接続されたターゲットサーバーとシリアルデバイスへのシームレスなアクセス制御をサポートします。KX II バックアップファイルをインポートして、KX II から KX III に移行することができます。

Paragon® と Dominion® CIM との互換性

Paragon II CIM の一部モデル、Dominion KX I および II の DCIM を使うことができます。Paragon と Dominion のユーザーで、Dominion KX III へのアップグレードをお考えの方は、CIM の多くを引き続き利用できるので移行コストを抑えることができます。